



## 2 時間目

### 子どもたちに聞く 「私たちのスマホ・携帯事情」

子どもたちはどんな場面で携帯やスマホを利用しているのでしょうか。北伊予中学校の生徒会の皆さんに聞きました。

自分のは持っていないけれど、親のスマホを借りて、調べものやゲームをします

神野誠大さん



植西准世さん

スマホは、連絡を取ったり、LINEをしたりするときに使っています。少しつながりにくいことがあるだけで、困ったことはないかな

スマホを愛用  
窪中美空さん



タブレットやオーディオプレーヤーがない生活は考えられないな

デジタルオーディオプレーヤーを愛用  
尾山幹大さん



スマホや携帯はほしいとは思わないけれど...

タブレット端末を愛用  
本田晴詩さん

タブレットがあれば、LINEもできるし事足ります



タブレット端末を愛用  
金子夕菜さん

県内の公立小学校5、6年生と公立の中学生が「インターネットが利用できる自分専用の機器を所有している」割合は、全学年で85パーセントを超えています（県教育委員会「インターネット等に関する調査」）。大人と同様、子どもたちもインターネットは欠かせないものとなっているのです。

#### 自分のスマホや携帯がなくともネットが楽しめる

一方、残りの5人は、自分のスマホや携帯を持っていません。でも、特に困ってはいないようです。その理由は、スマホや携帯以外の端末で、連絡を取ったり、自分の時間を楽しんだりすることができるからです。タブレット端末など、さまざまな端末を活用して、LINEなどをしています。また、親のスマホや携帯で、調べものやゲームをしている生徒たちもいます。

#### さまざまな端末を活用

北伊予中学校の生徒会の6人。その中で、自分専用のスマホを持っているのは、窪中さん1人です。親が不在のときの連絡手段のために、キッズケータイを持ったのがきっかけで、現在、スマホを利用しています。

## 子どもたちと考える



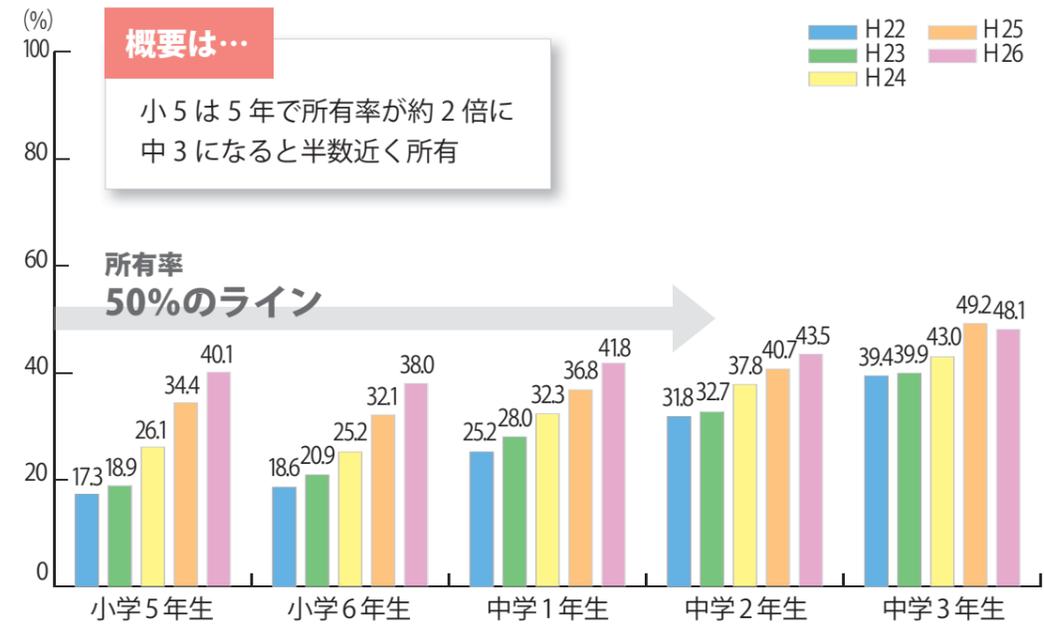
# 子どもとスマホ・携帯などの上手な付き合い方

## 特集

年々、子どものスマートフォン（以下「スマホ」）や携帯の所有率が上昇しています。便利な反面、思わぬところに危険が潜むスマホや携帯…。子どもたちと一緒に、付き合い方を見直してみましょう。

## 1 時間目

### 県内で自分のスマホ・携帯を所有している児童生徒の割合



(出典) 県教育委員会「インターネット等に関する調査」

## 県内の子どもたちのスマホ・携帯の所有状況を知る

#### 増えるスマホ・携帯所有者

県教育委員会が県内の公立小学校5、6年生と公立中学校全生徒を対象に行ったアンケートによると、平成26年に「自分の携帯電話・スマホを所有している児童生徒」は、学年が上がるにつれてその割合が高くなり、中学3年生には半数近くに上ることが分かりました（上のグラフ）。

所有率は、平成22年に比べると、どの年代でも上昇傾向にあります。特に、近年は小学生の増加率が大きく、携帯電話やスマホ所有者の低年齢化が進んでいることがうかがえます。大人の皆さんは、自分が子どもだったころを振り返ったとき、「子どもが携帯を持っていることは珍しい」と思うかもしれません。でも、スマホや携帯の普及は、大人だけではなく、子どもたちの中にも広がっているのです。

# 2

ネット依存は、生活習慣の乱れも引き起こします。県内でも、自  
分専用のインターネットに接続で  
きる機器を持っている公立小学校  
5・6年生の2割弱、同じく中学  
生の約3割が1日のインターネッ  
ト使用時間が2時間を超過(県教

### 生活習慣の乱れ

外遊びの減少は、体力・運動能  
力の低下を招きます。先の「平成  
27年版子ども・若者白書」でも、  
小中高生の体力・運動能力は緩や  
かに向上しているものの、昭和60  
年ころと比べ低い水準だと述べら  
れています(小3男子は昭和60年  
と比べ、50m走は0.27秒遅く、  
ソフトボール投げは4.8m短い)。

### 体力・運動能力の低下

外で遊ばない子どもたち  
平成25年の厚生労働省研究班  
の発表によると、ネット依存の中  
高生は51万8千人です。子ども  
外遊びの時間を減らした要因の一  
つが、ネット依存だといわれてい  
ます。実際、内閣府「平成27年版  
子ども・若者白書」によると、小  
中学生の1〜2割はほとんど運動  
をしていない結果が出ています。

### 外で遊ばない子どもたち

伊予医師会主催  
「スマホ社会の  
落とし穴」



吉村小児科 院長  
内海 裕美 先生

小中学生の心身の影響を考え  
る上で、乳幼児期からの関わり  
の大切さを話すのは、吉村小児科  
院長で、日本小児科医学会理事の  
内海裕美先生です。4月16日に

### 乳幼児期から関わりを

育委員会「インターネット等に関  
する調査」。睡眠・学習時間の減  
少を招いています。睡眠不足は、  
成長ホルモンや記憶力の低下、生  
活習慣病の原因となるなど、子ど  
もの発達に大きな影響を及ぼし  
ます。また、発達段階の子どもが  
スマホやパソコンから発せられる  
ブルーライトを多く浴びると、加  
齢による目の病気(黄斑変性)が  
若いうちにくる危険もあります。



行われた伊予医師会主催の講演  
「スマホ社会の落とし穴」で、次の  
ように話しています。  
「人は、人に関わらないと育た  
ない。体で覚えることは小さいこ  
ろにしておかないと、人間が培っ  
てきた感覚が感じられなくなる」  
スマホを使った子育てではな  
く、人、自然、物との触れ合いの  
中での子育ての大切さを内海先  
生は訴えます。体力・運動能力、  
言葉の力や社会性は、機械であ  
るスマホからは育むことができ  
ません。親の背中を見て子どもは  
育つということを忘れず、子ども  
たちに自分のスマホや携帯を持  
たせる前から、大人の使い方も見  
直してみましよう。

子どもたちの健やかな心身の発達のため、  
スマホに頼らない子育てを  
乳幼児期から始めよう

### 3 時間目

## 便利だけれど落とし穴も… スマホ・携帯などの注意点を学ぶ

自分のスマホや携帯を持っている子どもたちはもちろん、  
それ以外の端末でインターネットを利用する子どもたちも  
知っておかなければならない注意点を学びましょう。



# 1 注意点その1 消費者トラブル

### 事例その1

#### ワンクリック詐欺

- ① URLを1回クリックしたら「登録ありがとうございます」と表示され、登録料金を請求された。
- ② ネットサーフィンをしていたらアダルトサイトにつながり、無料コンテンツだと思い動画を見ようとすると、再生ボタンを押したとたん「自動登録された」と表示され、料金請求画面が消えない。

**アドバイス** ワンクリックだけでは契約は成立していません。サイトに連絡すると、個人情報を知られる可能性が…。支払わず、まずは相談を。



### 事例その2

#### プロフ(※)によるトラブル

- 自分の情報を書き込み、写真を投稿したら…
- ① 変なメールがたくさん届くようになった
- ② 落書きや顔写真だけ切り取られ、恥ずかしい写真が投稿されてしまった。

**アドバイス** インターネットに一度流れた情報は消せません。簡単にSNSやブログに個人情報を載せないようにしましょう。公開した写真に位置情報(ジオタグ)が付いていると、撮影場所を知られてしまいます。 ※プロフ…自己紹介のページが作成できるツール



### 事例その3

#### 架空請求

身に覚えのない料金請求メールが何度も届く。「支払わないと裁判所に訴える」と書いてある。

**アドバイス** 身に覚えがなければ払う必要はありません。慌てて業者に連絡せず、落ち着いて対処し、心配な場合は相談窓口にご相談を。



若年者の消費者トラブルで1番多いのは、インターネットトラブルです。インターネットは便利で楽しい反面、多くの危険がひそんでいます。特に個人情報の取り扱いには注意し、ネット上で知り合った人を簡単に信用しないようにしましょう。困ったことがあれば、一人で悩まず、相談窓口にご相談してください。

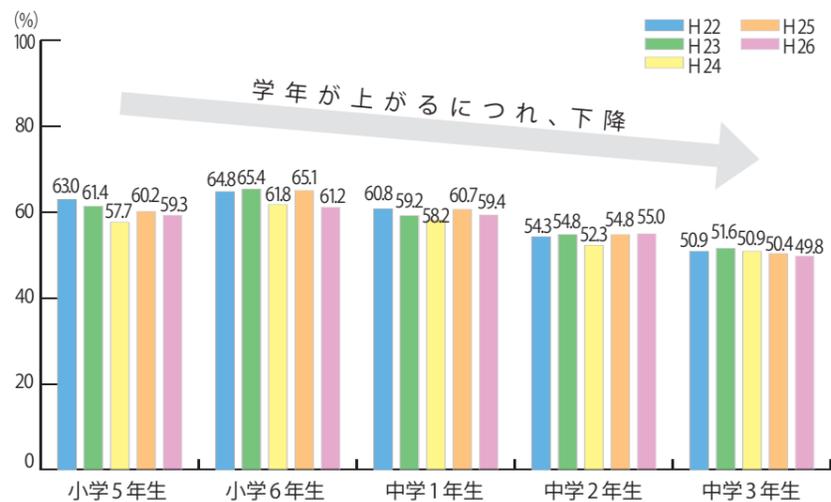
松前町消費生活相談員  
武田 咲枝 さん



みんなでスマホ・携帯などの  
上手な付き合い方を考える

子どもたちがトラブルに巻き込まれず、健康的に、また、安心して、スマホ・携帯などと付き合っていくために必要なことは何なのでしょいか。大人も、子どもも、みんなで考えてみましょう。

スマホ・携帯の使い方のルールを決めている家庭の割合



ルールの内容 (アンケートで回答があった項目)



(出典) 県教育委員会「インターネット等に関する調査」

上手に  
付き合うための  
3ステップ

- 一. ルールを作る
- 二. ルールを守る
- 三. ルールを見直す

子どもを守るルール作ろう

「子どもにスマホや携帯などを持たせるときは一番の責任は、保護者にあります」  
子どものスマホや携帯の利用に関する大人の責任を訴えるのは、愛媛県PTA連合会会長の村上一郎さんです。村上さんがこのように話すのは、「保護者の認識不足」を感じているためです。上のグラフを見ると分かるように、県内の公立の小中学生がいる家庭で、スマホや携帯の使い方のルールを決めている家庭は約5〜6割と、決して高くありません。また、「公益社団法人日本PTA全国協

スマホや携帯などを  
持たせる前に  
考えてみましょう

愛媛県PTA連合会  
会長 村上 一郎さん

議会が行ったアンケートでは、保護者がスマホや携帯のルールをつくっていること認識していても、子どもにはその認識がなく、半数しかルールがないと回答している結果もあります」と、大人と子ども意識のズレも指摘します。  
「スマホや携帯などでインターネットを使用することは、便利な反面、簡単に被害者にも加害者にもなる危険があります。そうなる前に、保護者が子どもたちを守らなければなりません」  
そこで、同連合会は、県と県教育委員会と県下統一のルールを共同宣言。保護者を主体とした家庭でのルール作りを訴えました。

ルールを作り、守り、見直す

統一ルールには、3つのステップが示されています。

「ルールは標準的なものです。これを参考に家庭に応じて約束事を決め、活用してもらえたら」と話す村上さん。加えて、継続して見守っていくことの大切さも訴えます。

「ルールを作ったら終わりではありません。3つのステップを循

環させることで効果があります」

大人も、子どもと一緒に

スマホや携帯をはじめ、タブレット端末などでインターネットと上手に付き合っていくには、大人も、子どもも、良い面と悪い面を理解した上で、より良い使い方を一緒に、また定期的に考えなければなりません。この機会にも一度話し合ってみましょう。

愛媛県PTA連合会

「みきゃんと一緒に共同宣言  
愛顔で使おう 愛媛のスマホ・ケータイ!」から抜粋

ルールを作る

- 使い方を家族で話し合っ  
てルール作り
- LINEなどのSNSは、友  
達やグループでマナーを  
守るルール作り

ルールを守る

- 使用は時間を守って(原  
則21時まで)
- 自分も他人も傷つけない  
人に優しい使い方を
- フィルタリング(※)サー  
ビスを解除せず必ず利用

ルールを見直す

- 子どもの発達段階に応じ  
て見直しを
- ルールの見直しは、家庭  
でしっかり話し合おう
- 3ステップ「作る、守る、  
見直す」サイクルが大切

※違法なサイト  
を見ることができない  
ようにしたり、迷惑メール  
などの悪質・違法なサイトにアク  
セスすることを制限したりする機能

大人と子どもが、  
使い方を一緒に考え、  
一緒に楽しむ



福嶋文江さん、文香さん親子。  
「夜遅くまではスマホを使わない」  
「LINEでグループは、決められたものだけ」  
親子で話し合い、楽しく安全に  
スマホを利用しています。